

# 日本文学研究ジャーナル

Academic Journal of Japanese Literature

特集 平安時代仮名日記の言説を問う—その魅力と可能性—(編集／和田律子・福家俊幸)

2022年6月  
第22号  
目次

巻頭エッセイ

仮名日記の冒頭

—平安時代女流に見る—

今西祐一郎……………2

土佐の時空—「土佐日記」試論—

荒井洋樹……………8

『多武峯少将物語』は日記か物語か？

—為光任少将の場面の位置づけから—

門澤功成……………20

『蜻蛉日記』下巻における道綱

—贈答歌群および養女求婚記事をめぐって—

庄司敏子……………31

『和泉式部日記』異本の一様相

—「情けなからず」の解釈をめぐって—

岡田貴憲……………42

『紫式部日記』内想の生成—その発酵音を聴きながら—

渡邊久壽……………55

『更級日記』登場人物の選択—藤原頼通との関連から—

和田律子……………70

『為仲集』乙本における待遇意識・日付・寛子後宮

大塚誠也……………85

『讃岐典侍日記』乳母へのまなざし

—二代の帝に仕えるということ—

福家俊幸……………97